

第5回海洋教育フォーラム

温度差に秘められた海のエネルギー

日時：2013年11月24日（日）13:30～16:20

会場：神戸高専（神戸市立工業高等専門学校）

専攻科棟2F 大講義室A

<http://www.kobe-kosen.ac.jp/>

主催：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

共催：テクノオーシャン・ネットワーク

後援：教育新聞社

協力：神戸市立工業高等専門学校

中学生・高校生等若い世代に海や船への関心を高めることを目的に、海洋エネルギーに関する講演と実験を開催します。今回は、海洋エネルギーのうち、「海洋温度差」を取り上げ、海水の温度差から電気を生み出す原理を解説するとともに、半導体素子を使った温度差発電実験により理解を深めます。将来の再生可能エネルギーとして注目されている海洋温度差発電は、海洋の深層水と表層水の温度差を利用して発電するもので、2013年4月から沖縄県久米島にて50kWクラスの実証実験が始まりました。この機会に、海洋温度差発電の取組みについて理解を深め、海洋エネルギーの将来に思いを馳せましょう。

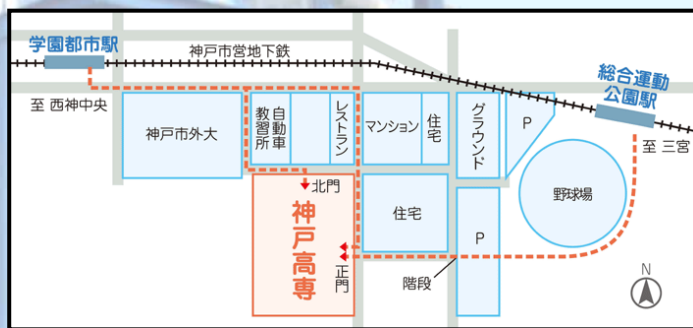
プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶 箕浦宗彦(第5回海洋教育フォーラム実行委員長)
- 13:35～14:30 講演:海洋温度差発電の原理 講師:池上康之(佐賀大学 教授)
- 14:45～16:15 半導体素子を使った温度差発電システムの製作と実験 講師:山本利一(埼玉大学 教授)
- 16:15～16:20 閉会挨拶 藤久保昌彦(テクノオーシャン・ネットワーク理事)

講演は海洋温度差発電の原理と最新の熱交換技術を解説します。実験はグループごとに実験装置を用いて行います。データ計測と解析を行い、発電した電力を定量的に明らかにします。データを整理したのち、質疑応答の時間を設けます。

アクセス

- JR三ノ宮、阪神・阪急の三宮駅：市営地下鉄三宮駅より地下鉄に乗り。総合運動公園駅下車後、西へ約800m(徒歩13分)
- JR舞子駅：市バスあるいは山陽バス53,54系統に乗り。学園都市駅下車後、東へ1km(徒歩15分)
- JR朝霧駅：市バス50系統に乗り。学園都市駅下車後、東へ1km(徒歩15分)
- JR垂水駅：山陽バス48系統に乗り。学園都市駅下車後、東へ1km(徒歩15分)
- JR垂水駅東口：山陽バス11系統に乗り。学園都市駅下車後、東へ1km(徒歩15分)



参加申し込み等

参加対象： 中学生、高校生
参加費： 無料(参加登録が必要です)
参加申し込み：

文頭に「第5回海洋教育フォーラム&テクノオーシャンユース参加申込」と明記し、「①氏名、②所属、③連絡先メールアドレス(または電話番号)、④午前中見学の有無」をご記入の上、下記の申込先までメール又はFAXでお申し込み下さい。申込多数の場合は先着順とさせていただきます。

第5回海洋教育フォーラム事務局
<http://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>
申込先
Email: techno-ocean@kcva.or.jp
TEL: 078-303-0029 FAX: 078-302-6475